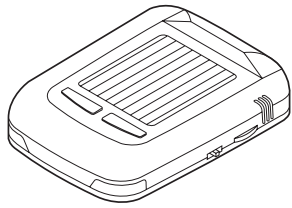


この度はベストワンシリーズレーダー探知機をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されており、正しくご使用いただく為、本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。



・ご使用上の注意	ページ 2
・おもな特長	5
・各部の名称	6
・ご使用にあたって	8
・使用初期の充電	10
・レーダー受信機の取付け方法	11
・各スイッチの設定方法	12
・本機の受信方法	17
・機能用語の説明	18
・レーダーまめ知識	19
・故障かな?と思ったら	21
・仕様	22

警告

- ⚠ 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ⚠ 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- ⚠ 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- ⚠ 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- ⚠ 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ⚠ 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

ご使用上の注意

3

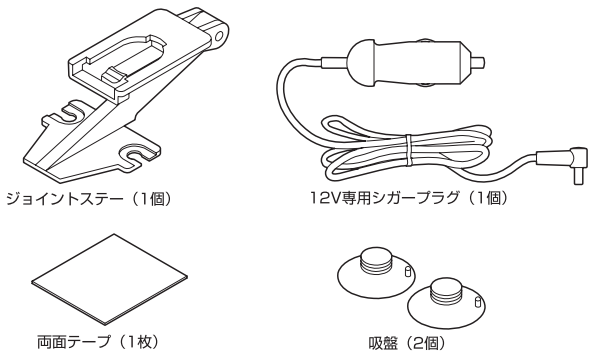
おもな特長

- ソーラーレーダーの常識を超えたわずか64mm×86.5mmのコンパクトボディに取締連絡無線（350.1MHz）の受信機能を搭載。
- リフレクターレンズの採用により後方受信性能が140%アップ/当社比
- D.S.C（デジタル・スイープ・コントロール）回路搭載により安定した受信
- ステルス・新Hシステム対応
- 高容量電池・オートボリュームダウン・LSC-V機能採用により、従来のソーラーレーダーより消費電流を抑えた省エネ設計
- 万一、バッテリー不足になっても、シガープラグ（12V）から電源供給できる安心設計
- フロントガラス又は、ダッシュボード上に取付け可能なジョイントステーを付属
- ツインアラーム機能採用により2種類の受信音を選択できます

おもな特長

5

付属品



各部の名称

7

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「使用上の注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱をすると、生じる事が想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

ご使用上の注意

- ⚠ **警告**：警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。
- ⚠ **注意**：注意を無視した取扱いをすると、使用者が傷害や物的損害を被る可能性があります。

2

ご使用上の注意 つづき

注意

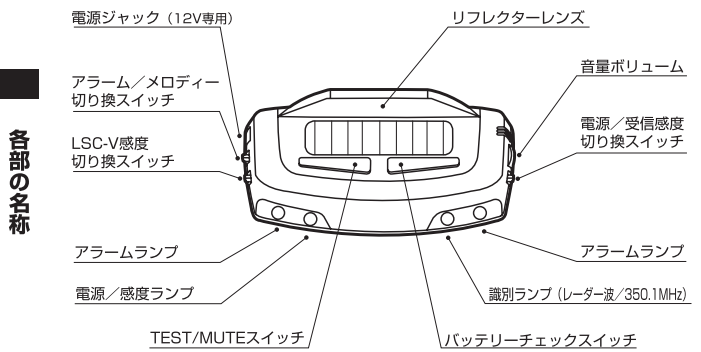
- ⚠ 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、内蔵のカドニカ電池、吸盤等の消耗品は保証の対象になりません）
- ⚠ 万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- ⚠ 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- ⚠ 本製品は、レーダー式（Xバンド・Kバンド）の速度取締機と、取締無線（350.1MHz）のみ有効で光電管式、ループコイル式・ワイヤー式等、他の方式による速度取締機には反応しません。
- ⚠ 取締りレーダーと同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、レーダー受信機が受信することがありますが、これは誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダー・航空用レーダー）
- ⚠ 一部のナビゲーションシステム装着者において、ナビゲーションシステムからの漏れ電波により、レーダー受信機が誤作動する場合があります。
- ⚠ 太陽電池の発電量は使用環境（気象条件・駐車中の日照状況等）の影響を受け易く、通常状態よりはやく電池が消耗する事があります。シガープラグからの併用充電を行ってください。

ご使用上の注意

4

各部の名称

本体



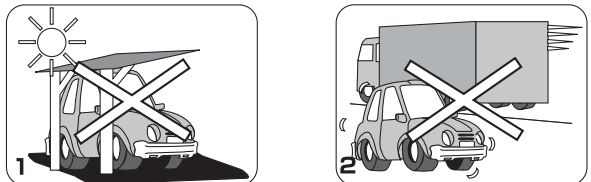
各部の名称

6

ご使用にあたって

本製品の回路設計にあたっては、通常の使用状況に於いて太陽電池の発電量と回路消費電力のバランスがとれるようになっておりますが、次の様な場合、発電量が不足しチャージサインが表示される事があります。もし、このような症状が現れた場合は、シガープラグコードを使用して内蔵電池の充電をしてください。充電時間は、7時間程度を目安にしてください。

ご使用にあたって



- 1・屋内駐車場・ガレージ等太陽光の直接当たらない場所へ長時間駐車される場合。
- 2・高速道路・交通量の多い道路わき・鉄道の線路わき等、絶えず振動を受けて動作状態になる場合。

8

下記1~4の様な条件下でご使用される場合は、シガープラグコードを接続した状態のご使用をお薦め致します。



3・冬の雪国や梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる場合。



4・夜間走行の頻度が多い場合。

ご使用にあたって

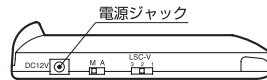
9

使用初期の充電

まず、最初に **充電** を行ってください。

出荷時には、検査用予備充電しかされておられません

長い間、本体を使用せず放置しておりますと内蔵電池が自然放電してしまいます。必ず、当社専用シガープラグコード（12V）を使用して、エンジンをかけて充電してください。バッテリーチェックスイッチ（P16参照）を押してランプが緑色になれば、充電完了です。（電源スイッチは、ON/OFFどちらでも充電できます。）



注意 内蔵電池の寿命について

使用状況・使用環境にもよりますが、おおむね4~5年が目安となります。内蔵電池の寿命に満たない前に内蔵電池の容量が低下する事（メモリー効果）がありますが、その場合は一度完全放電させてから満充電にすると、性能がもどる場合があります。また、内蔵電池はリサイクル可能なカドニカ電池ですので交換の際は弊社サービス部までご連絡ください。

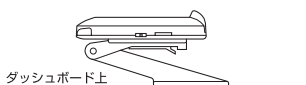
使用初期の充電

10

レーダー受信機の取付方法

本機は2通りの車両側への取付け方法があります。

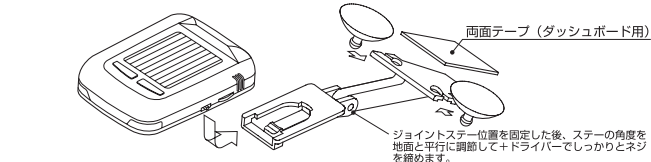
ダッシュボードへの取付け



ダッシュボード上

警告 エアバックの飛び出し場所には取付けしないでください。

まず、ジョイントステーを上図のようにダッシュボード又はフロントガラスどちらかの取付け場所を選び、付属品（吸盤・両面テープ/下図）をジョイントステーにとりつけます。車両に固定した後、ジョイントステーを地面と平行に調節してからドライバーでしっかりとネジを締めます。最後に本機を下図のように矢印方向からセットすれば取付け終了です。



両面テープ（ダッシュボード用）

ジョイントステー位置を固定した後、ステーの角度を地面と平行に調節してドライバーでしっかりとネジを締めます。

レーダー受信機の取付方法

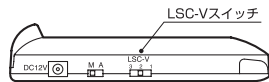
11

LSC-Vスイッチの設定

LSC-Vスイッチとは

車の走行振動を利用して駐・停車時の不要な警告音を自動的にカットする為の振動調整用スイッチです。

- 1 エンジンをかけます。
- 2 本機の電源を入れます。
- 3 LSC-Vスイッチを電源/感度ランプの点滅が消えるところにあわせませす。（LSC-Vの振動感度は 3...高 2...中 1...低 としてあります。）走行時、30~40Km/h以上で電源ランプが点滅していれば、調整完了です。



LSC-Vスイッチ

※ディーゼル車の場合アイドリング及び、走行中の識別がうまくできないことがあります。このような場合は、停止状態（エンジン停止）で電源ランプの点滅が消えるように調整してください。

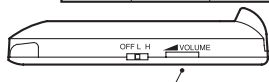
各スイッチの設定方法

13

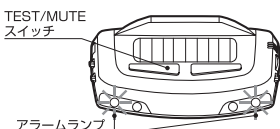
TEST/MUTEスイッチ・音量ボリュームの設定

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 TEST/MUTEスイッチを押します
アラームランプ点灯と警告音は下図のようになります。また、警告音が鳴っている間に音量ボリュームでお好みの位置に設定してください。

アラームランプ	緑（点灯）→ 赤（点灯）→ 赤（フラッシング）
警告音	アラーム ビッピビッ ビビビ ビー メロディー ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト



音量ボリューム



TEST/MUTEスイッチ

アラームランプ

レーダー波を受信した場合

レーダー波の発信原を確認し、警告音が鳴り続ける状況時にTEST/MUTEスイッチを押すとアラームランプは受信状態のまま警告音だけをカットします。MUTE状態はレーダー波が途切れるまで持続し、自動で待機状態に復帰します。

各スイッチの設定方法

15

各スイッチの設定方法

電源のいれかた/受信感度スイッチの設定

本機は電源スイッチと受信感度スイッチを兼用しております。

- 1 本機の電源を入れます。
受信感度スイッチをHI又はLOWにあわせませす。受信感度は下表の走行条件に応じて選択してください。
電源感度ランプが点滅すれば正常です。



受信感度スイッチ



電源感度ランプ

受信感度スイッチ	OFF	LOW	HI
感度ランプ	つかない	赤色	緑色
走行条件	—	市街地	郊外・高速

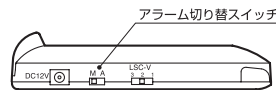
各スイッチの設定方法

12

各スイッチの設定方法とはたらき

アラーム音色の設定

本機にはアラーム切替スイッチにより、2種類の音色を選択することができます。



アラーム切り替スイッチ

メロディーモード選択時はアラームランプのみの表示となります。アラームモード選択時、ステルス波を受信すると断続アラーム（ピロピロ音）、アラームランプの早い点滅でお知らせします。

A（アラームモード）：電子ブザー（ピーピー）
M（メロディーモード）：♪♪♪

※ステルス波及び350.1MHzの受信機警告音はアラームモードのみ有効。

各スイッチの設定方法

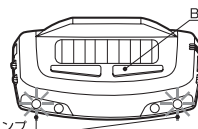
14

各スイッチの設定方法

B-CHECK（バッテリーチェック）スイッチについて

内蔵電池の充電状態が表示ランプで確認できます。

- 1 本機の電源を入れた状態で、バッテリーチェックスイッチを押します。
アラームランプが緑色であれば、良好です。
アラームランプが赤色であれば、充電が必要です。



アラームランプ

B-CHECKスイッチ

アラームランプ	緑	赤
充電状態	良好	要充電

また、バッテリーチェックスイッチを押さなくても容量不足の場合、自動的にお知らせするチャージサイン機能を採用しています。

各スイッチの設定方法

16

本機の受信方法

レーダー式	レーダー波	警告音		表示ランプ	
		アラーム	メロディー	識別ランプ (レーダー波/350.1MHz)	アラームランプ
Hシステム ・ パトカー車載式等	遠い(弱) ↓ 近い(強)	ビッピッピ ↓ ビビビビ ↓ ビー	♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪	遅い点滅 (黄色)	緑色 ↓ 赤色 ↓ 赤色(フラッシング)
ステルス		ピロピロピロ	♪ ♪	遅い点滅 (黄色)	赤色(フラッシング)
取締り連絡無線 (350.1MHz)	——	ビビビビ ビビビビ (連続6回鳴る)	♪ ♪ (約2秒間)	速い点滅 (黄色)	赤色(フラッシング) 警告音と同期して光る

本機の受信方法

17

機能用語の説明

オートボリュームダウン

レーダー波を受信開始してから約15秒後に減音します。

チャージサイン

内蔵カドニカ電池が容量不足になると、電源ランプの点滅と警告音が同期して充電不足をお知らせします。もしチャージサインができましたら、付属のシガープラグを差し込んでいただき充電を行ってください。

機能用語の説明

18

レーダーまめ知識

このページは一般に知られている、いろいろな取締り機についての説明です。

レーダー式

ステルス型取締り

代表的な取締り機は三菱電機のRS-720DRですが、最近JRCも新型の取締り機をだしたと言う情報があります。実際の取締りでは、警察官がリモコンで装置をコントロールする為いろいろな電波の出しかたができます。計測精度をあげる為、一般的には電波を出したままにして、電子シャッターで電波が外に漏れないようにしますが、最近のレーダー受信機は感度が高くその状態でも300メートル手前から受信できてしまう為現在は、至近距離まで取締りの電源自体を落として、電波が出ない状態にする“狙い打ち”的方法が使われるようになりました。この方法ですと、レーダー受信機の反応は極端に遅れ70~100メートル地点でいきなり受信するというケースも想定されます。(この狙い打ち的方法の歴史は古く、ステルス型取締りが導入される随分以前から使われる手法でした。)

Hシステム

設置式取締り機は一種で車両測定用の電波が間欠で発信されています。従って従来のタイプのレーダー受信機では、著しく感度がさがります。このシステムはビデオカメラで違反車両のナンバー及び運転者を同時に撮影し専用回線を介して県警本部の大型コンピュータに送られます。受信距離は500メートル前後が一般的ですが電波の分布(間欠波の為)の関係で連続音はやや遅くなります。

パトカー車載式

パトカーの赤色灯部分を一部改良して取締り装置を載せたもので、主に高速道路等で、走行中に後方から取締りする事が多いが、レーダー出力が強い為、500メートル以上からでも受信できます。

レーダーまめ知識

19

レーダーまめ知識

レーダー式以外 (注:レーダー探知機は反応しません。)

ループコイル式

設置式オービスの一種で、車両測定を道路下や中央分離帯等に埋め込まれた金属探知機によって車両が通過する際、速度を測定する方式です。この取締り機は電波をださない為本機は反応しません。設置式オービスの場合は事前に表示板がでている事が多いので、見落とさないよう注意が必要です。

光電管式

昔のワイヤー式を進歩させた取締り機で、道路上2点間に置かれたセンサーを車両が通過する際の速度を測定します。この取締り機も電波は使用しない為本機では反応しません、しばしば連絡に350.1MHzの警察無線を使用している様です。

Kバンドの取締りについて

Kバンド

現在国内において、Kバンドの取締り機は行われていませんが、郵政省電気通信局が割り当てた速度測定用周波数に24.2GHz(Kバンド)があります。近い将来この周波数を用いた取締り機が行われる可能性があります。本製品はKバンドも受信できる様設計されております。

レーダーまめ知識

20

故障かな?と思ったら

次のような場合は、故障でない事がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

動作しない

- 本機のスイッチが「切」になっていませんか? → 12ページ参照
- 内蔵電池の残量がなくなっていますか? → 10ページ参照
- LSC-Vスイッチの感度設定が間違っていますか? → 13ページ参照

警告音が鳴らない

- 音量ボリュームを低く調整していませんか? → 14ページ参照

警告音が鳴りつづける

- 内蔵電池の残量がなくなっていますか? (チャージサイン) → 18ページ参照

故障かな?と思ったら

21

仕様

電源電圧	2.4V (高容量カドニカ電池)
電池容量	250mAh
充電入力電圧	D.C 12V
消費電流	待機時 1mA以下(無振動時) 最大時 60mA以下
受信周波数	Xバンド (10.525GHz) Kバンド (24.200GHz) 取締り連絡無線 (350.1MHz)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
検波方式	FMトラッキングタイムカウンタ方式
動作温度範囲	-10℃~+80℃ -5℃~+80℃(充電時)
本体寸法	W64 × L86.5 × H16 / mm
重量	85g

22